



三珠中学校校長室だより
令和7年6月18日発行
No.11
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちらから！



福祉講話・高齢者疑似体験

先週の木曜日の3・4時間目、町から7人の講師の方々をお招きして、1年生が福祉講話と高齢者疑似体験を行いました。▼



3時間目に行われた福祉講話では、主に認知症の方への接し方を学習しました。認知症が疑われる人から「同じことを何度も何度も聞かれた場合、どんな対応をすればよいのか？」など具体的な例について考えました。▼また、1年生は来月9日にナーシングプラザ三珠を訪問することになっています。講師の方の中に介護施設訪問の専門家がいらっしやったので、どんなことをすればお年寄りの方々に喜んでもらえるかを尋ねたところ、「手遊び歌」を紹介してくださいました。1年生の素晴らしいところは、その「手遊び歌」を心から楽しんでいるところです。♪1・2の3の2の4の5、3・1・2の4の2の4の5♪のリズムに乗って、指を動かすという、端末で楽しむゲームに比べれば至極単純な遊びにも心の底から楽しもうという気持ちで参加しているように見えました。この経験はきっとナーシング訪問に生かされることでしょう。▼4時間目は高齢者疑似体験を行いました。2人1組を作り、片方の方が「もみじ箱」と呼ばれる80歳のお年寄りの体を疑似体験できるキットを装着してお年寄り役を、もう片方の方が介助役をし、『ペットボトルのキャップを開けて、紙コップに水を注ぐ』といった普通であればさして難易度の高くない動作をお年寄りはどのように感じているのかを交互に体験しました。お年寄りの本当の苦勞を知るところまでは難しかったかもしれませんが、少しでもお年寄りの立場に立って物事を考えようという経験ができ有意義でした。▼授業のまとめの感想では何人もの方が『お年寄りに優しく接したい』と言っていたのが印象的でした。お年寄りはもちろんですが、自分の周りの人にも優しい気持ちのもてる人であってほしいと願います。



登下校時の服装について

昨日、担任の先生からお話があった通り、本日からしばらくの間、登下校時の服装について、『**ジャージも可**』とすることにしました。きっかけは朝の何気ない生徒の一言でした。▼毎朝、私と教頭先生は校庭東側の横断歩道のない道を登校して来る小学生が横断するお手伝いをしています。『いってらっしゃい！』と声をかけると『行ってきます！』と元気に笑顔であいさつを返してくれる小学生や、友だち同士の他愛のないやりとりに癒やされています。いつもと同じように教頭先生と2人で道に立っていると中学生が通りかかり、『おはようございます！』とあいさつを交わすと続けて、『ジャージ登校ではだめですか？』と話しかけられました。昨日は朝から異常な暑さで、その顔は汗ばんでいます。『確かに、制服を着て朝から汗をかいてしまえば、衛生面でも健康面でもよくない』と感じました。▼毎週火曜日の1時間目は管理職・教務主任・各学年主任・養護教諭・事務主任が学校運営について話し合いをする『運営委員会』が行われることになっています。朝の生徒の言葉を運営委員会で先生方に投げかけてみたところ、全会一致で『ジャージ登校を認める』ことになりました。生徒の真つ当な声を拾い上げることができて良かったと思いました。今朝の登校風景では白い半袖ジャージが太陽に輝いて生徒たちがまぶしく見えました。▼さて、ここからは生徒の皆さんへのお願いです。今回の措置は、今のところ希珠祭終了までを考えています(期末テスト・1学期終業式・2学期始業式の日にはジャージ登校で構いませんがテスト中及び式中は制服を着用しましょう)。登校時の服装を選ぶ際は、『ジャージが楽だからジャージにしよう』ではなく、その日の気候に合わせて自分で考えてほしいと願っています。たかが服装と思わず、自分で考えることの繰り返して、自分で考えて動く力(自主性)は間違いなく鍛えられるはずです。



から汗をかいてしまえば、衛生面でも健康面でもよくない』と感じました。▼毎週火曜日の1時間目は管理職・教務主任・各学年主任・養護教諭・事務主任が学校運営について話し合いをする『運営委員会』が行われることになっています。朝の生徒の言葉を運営委員会で先生方に投げかけてみたところ、全会一致で『ジャージ登校を認める』ことになりました。生徒の真つ当な声を拾い上げることができて良かったと思いました。今朝の登校風景では白い半袖ジャージが太陽に輝いて生徒たちがまぶしく見えました。▼さて、ここからは生徒の皆さんへのお願いです。今回の措置は、今のところ希珠祭終了までを考えています(期末テスト・1学期終業式・2学期始業式の日にはジャージ登校で構いませんがテスト中及び式中は制服を着用しましょう)。登校時の服装を選ぶ際は、『ジャージが楽だからジャージにしよう』ではなく、その日の気候に合わせて自分で考えてほしいと願っています。たかが服装と思わず、自分で考えることの繰り返して、自分で考えて動く力(自主性)は間違いなく鍛えられるはずです。

